原発再稼働・戦争法「おかしい」

「安倍やめろ」コール

官邸・国会前

大抗議行動 全国から

22日に行われた首都圏反原発連合主催の「反原発☆首相官邸前・国会前大抗議」では、再稼働反対の声とともに安倍政権ノーの声が響きました。

反原発大抗議で原発の再稼働反対、安倍首相はやめろと抗議する人たち＝22日、国会正門前

横浜市から娘（31）と参加した市原和子さん（67）は「安倍政権は早くやめてほしい」と語ります。「原発も米軍基地の問題も安倍さんは自分のこととして考えていないのでしょう。日本をどうしようとする気なのか」

妻と4歳、1歳の息子と参加した横須賀市の橋聡（さとし）さん（43）も「再稼働も戦争法も絶対におかしい。国民の声を聞かない安倍政権を早くやめさせなくては」と語気を強めました。

「川内とめろ！ 再稼働反対 STOP核発電」と刺しゅうした手作りの布を掲げるのは東京都大田区の女性（66）。「誠実さを全く感じられない首相が国のトップにいるということは情けないし残念。これまでもできる限り行動に参加してきましたし、今後も続けます。私の生活の一部です」と話し、「安倍はやめろ」のコールを続けていました。

都内北区から参加した増田拓さん（43）＝保育士＝は「原発再稼働も戦争法も実行されたら国民が犠牲になる。政府が国民を守らない以上、主権者である私たちが声をあげ、行動するしかない。共産党が提唱したように『戦争法廃止』で一致する政党で政権をつくるのはいいですね」。

地方からの参加者も数多くいました。

京都府宇治市から初めて参加した大学4年の、みきさん（22）は「福島原発はいまだに深刻な事態なのに再稼働なんておかしい。主権者は私たち国民。原発も戦争法も米軍基地も対米従属の構造にノーと言えない政府は情けない」と憤ります。

広島市から8月30日につづいて2度目の国会前行動への参加という女性（41）＝会社員＝はいいます。「自民党の谷垣禎一幹事長の〝デモがポピュリズム、になるならば、よくない〟という発言に腹が立ちました。生活するうえで、自分の命を削られるシステムをつくろうとしているのが安倍政権です。それを忘れて、行動をやめるなんてありえません」

新潟市内から、車で5時間近くかけて夫婦で上京し、都内に住む息子（19）と一緒に参加した男性（48）は「原発再稼働も、戦争法案強行も、安倍政権が悪いってことは共通。どちらも元に戻すことは可能です。意思を表明し続けることが大事」と話しました。

9/23 赤旗

戦争法廃止をアピール

女性「子ども守る」

レッドアクション

京都

「戦争はあかん」と22日、戦争法に反対する京都府内の女性有志らが京都市内をデモ行進しました。約110人が集まり、「だれの子どもも殺させへん」「無理やり通した採決無効」とコールし、繁華街に声を響かせました。

主催は、京都府内の女性有志でつくる「戦争アカン！ 京都・おんなのレッドアクション」。赤いものを身につけた女性らが沿道にアピールしました。

年内に男の子を出産予定だという教員の女性（30）は、途中から参加しました。「教育で戦争を推進することになるかもしれない。生まれてくる子どもも心配です」と話しました。

「戦争したがる総理はいらない」とコールする参加者＝22日、京都市

日本共産党の倉林明子参院議員が参加し、あいさつしました。

同日、国際婦人年京都連絡会が主催した「国際婦人年京都集会」が同市内で開かれました。ジャーナリストで和光大学教授の竹信三恵子さんが講演。参加した日本共産党の玉本なるみ京都市議が「戦争法廃止の国民連合政府」の実現を呼びかけました。

ミドルズら街頭へ

「連休あっても忘れない」

東京・渋谷

戦争法制の廃止を求める「NO WAR デモ」が22日、東京都渋谷区であり、約500人がバンドの生演奏に合わせて「他国の戦争 力を貸すな」「連休あっても忘れない」などと声を上げながら休日の繁華街を行進しました。

40代～60代の社会人でつくる「戦争法制に反対するミドルズ」など4団体を中心に実行委員会をつくって呼びかけました。

デモに先立つ集会で、参加団体の一つ「秘密保護法を考える女子会@足立」の佐藤こずえさん（45）は「私は保育士。子ども同士がけんかしたら、互いに折り合いをつけることの大切さを伝えている。武力は解決にならない」と訴えました。

行進を先導するトラック荷台からのバンドの音に注目が集まりました。歩道からの声援やガッツポーズに、参加者が応じる場面も見られました。

ミドルズ代表で行政書士の岩脇寛広さん（56）は「中年世代が声を上げてこなかったから民主主義の危機が生まれた。責任世代。悔いのような思いからミドルズを始めた」と語りました。

実行委員の山村よしとさん（50）は「デモに対する周囲の受け止めが変わってきた。『特殊な人』という感じから、『ああ、やってるな』と。戦争法廃止は誰にも共感できるテーマなのではないか」と話していました。

休日の繁華街を行進するデモ参加者＝22日、東京都渋谷区